

# 長年の貢献に感謝をこめて

地方自治の発展や社会福祉の向上に貢献した方の功績をたたえる「平成21年度つがる市表彰式」が1月8日、生涯学習交流センター「松の館」で行われました。

今年度の受賞者は褒賞4人、功労賞4人の計8人。式では福島市長が受賞者一人ひとりに表彰状と記念品を手渡し「皆様の顕著な功績に敬意を表します。これからも識見と経験を生かして、市発展のために助言くださるようお願いいたします」と式辞。受賞者を代表して秋田谷要藏さんが「地方自治に携わり、つがる市誕生に立ち会えたことが一番の思い出です。今後は一市民として微力を尽くす覚悟しております」と謝辞を述べました。



## 成田 昭司さん

(60歳・柏桑野木田)

平成17年4月から平成21年3月までつがる市収入役として市の発展に尽力するとともに、町村合併推進に努め、つがる市誕生に貢献。また平成3年4月から平成17年3月まで柏村議会議員及びつがる市議会議員として地方自治の振興発展に寄与



## 秋田谷 要藏さん

(73歳・下車力町)

平成17年4月から平成21年4月までつがる市特別参与として市の発展に尽力するとともに、町村合併推進に努め、つがる市誕生に貢献。また昭和54年4月から平成17年2月まで車力村議会議員及び車力村助役として地方自治の振興発展に寄与



### 褒賞

褒賞は、市民または市に縁故の深い人で、福祉、勸業、地方自治、教育、文化などの各分野において市の発展に寄与し、功績が特に卓越し、顕著であった人に贈られます。



## 中村 正行さん

(81歳・車力町)

長年短歌づくりに精励し、平成21年「歌会始の儀」の選歌に全国で4人目となる2年連続の入選を果たし、皇居宮殿において披露されるなど文化発展に貢献



## 平山 厚さん

(64歳・下牛潟町)

昭和37年12月から平成21年2月まで消防団員として46年の長きにわたり、地域住民の生命財産の保護に努め、消防行政の推進に貢献〔つがる市消防団車力地区団長を歴任〕



## 長内 富三さん

(64歳・木造千代田)

平成元年3月から平成21年2月まで木造町農業委員会委員及びつがる市農業委員会委員として8期19年にわたって在職し、地域農業の振興発展に貢献



## 小野 榮一さん

(62歳・稲垣町繁田)

昭和62年7月から平成21年2月まで稲垣村農業委員会委員及びつがる市農業委員会委員として8期21年にわたって在職し、地域農業の振興発展に貢献



### 功労賞

功労賞は、市民または市に縁故の深い人で、福祉、勸業、地方自治、教育、文化などの各分野において市の発展に寄与し、優れた功績のあった人に贈られます。



## 原田 春美さん

(54歳・森田町床舞)

昭和49年3月から平成21年2月まで消防団員として34年にわたり、地域住民の生命財産の保護に努め、消防行政の推進に貢献〔つがる市消防団副団長を歴任〕



## 尾野 光春さん

(62歳・牛潟町)

昭和45年6月から平成20年8月まで消防団員として38年にわたり、地域住民の生命財産の保護に努め、消防行政の推進に貢献〔つがる市消防団副団長を歴任〕

迎春

# 多くの市民が集い、新年を祝う



つがる市発展を祈念して乾杯する  
宮本純一商工会長



新春を迎え年頭のあいさつをする福島市長

平成22年は寅年。輝かしい希望に満ちた新年を迎え、平成22年新年祝賀会が1月4日、市民ら約230人が出席して松の館で盛大に開催されました。

福島市長は年頭のあいさつで「つがる市は合併して5年目を迎えます。引き続き基幹産業である農業の推進を図り、食に対する安全と安心を基軸に農産物のブランド化の強化、自然や文化、歴史などを含めた『つがるの宝』の発信に努めます。12月には東北新幹線八戸・新青森間が開通することで、本市の地域経済を活性化するチャンスでもあることから、皆様方からご意見やアドバイスをいただき、様々な施策を展開して参ります」と述べました。

また、祝賀会には多くの来賓も出席し、代表して木村太郎衆議院議員、竹内黎一元衆議院議員、三橋二三県議会議員が祝辞。宮本純一商工会長の乾杯で祝宴が始まり、出席者は新年のあいさつを交わっていました。



新年を祝いながら会食する出席者

## 不屈の精神で 市民の生命と 財産を守る 「火消し魂」

### つがる市消防団出初め式



勇ましく分列行進をする消防団員

新春の恒例行事である「つがる市消防団出初め式」が1月5日、57分団約900人、消防車両60台が参加して松の館駐車場で開催され、火災のない安全・安心なまちづくりに決意を新たにしました。

式に先立ち、福島市長はじめ箱田鉄雄消防団長や消防団幹部らが、三新田神社で無火災祈願祭を行い、今年一年の無火災を祈願しました。

午前9時40分から行われた式で消防団員は、市議会議員、県議会議員、消防関係者などの見守る中、観閲者の福島市長から服装の点検を受け、市役所前の市道を勇ましく分列行進して士気を高めました。

分列行進終了後は、会場を松の館に移して式典が行われ、福島市長が「消防人としての高い誇りを持ち、あらゆる災害に即応できるよう心身を鍛え、市民の信頼と期待に応えてほしい」と式辞。続いて箱田団長が「団員は日々の訓練を積み重ねて日夜わが身を省みず、防災の精神で任務を全うしてもらいたい」と訓示しました。

また、30年以上の長きにわたり消防団活動に寄与して勇退された12人の団員に福島市長が感謝状を手渡し、最後に万歳三唱で出初め式を祝いました。



三新田神社で今年一年の無火災を祈願する箱田団長